

2021年3月26日

蓬田村と国立大学法人弘前大学との連携調査研究事業

弘前大学大学院地域社会研究科

地域産業研究講座 内山大史

2. 地域産業の高度化を図る調査研究事業

【事業目標】

6次産業化を目指す、人材育成や既存施設の再活用等の調査研究を行い、新規雇用に結びつける。

農商工連携・6次産業化による高付加価値化の実現を目指し、地域資源の再評価を実施するとともに、効率的で実効性の高い事業戦略を策定する。

【事業実施内容】

6次産業化へ向けた村民の意識醸成研修会等や既存施設の機能付加等を探り、新たな産業創出を図り、新規雇用や移住定住促進に結び付ける。

農商工連携・6次産業化に関連する域内資源（人的・物的・情報等財産）の調査・評価を行い、地域産業の強み弱みなどの特徴を明らかにする。域内農産品（1次、2次）の差別化・高付加価値化に向けた基礎的検討（地域ブランド、地域商社機能等）を行う。

【2020年度関連事業等概要】

・7月16日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第1回）

- 次第
1. 弘前大学の取組み（自己紹介と大学事業概要）
  2. 当該調査研究事業の概要・今後の取組み
  3. 参加者との意見交換、情報共有
  4. 今後の進め方

固定メンバー

総務課	福井飛雄馬
住民課	工藤由紀子
健康福祉課	川崎光世
税務課	工藤大毅
建設課	大宮哲也
教育委員会	田中友也
産業振興課	古川直樹
事務局	中川孝治
弘前大学	内山大史
弘前大学	上平好弘

- ・ 10月7日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第2回）
  - 次第 1. 前回の振り返り
  - 2. 本日の座談会
    - ・ これからの進め方  
日程案
    - ・ 第1部：地域の課題を念頭に置きながら、  
収益をあげる仕事について考えよう  
(WS形式)
    - ・ 第2部：地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう  
(GW形式)
  
- ・ 10月7日：蓬田村教育委員会訪問  
蓬田中学校生徒さんとの連携事業の可能性について
  
- ・ 10月28日：地域経営に関する人材育成ワークショップ開催（1月）について  
(ZOOM 打合せ)
  
- ・ 11月1日～：地域産業活性化人材育成研修への参加者募集案内開始（広報）
  
- ・ 11月11日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）  
(コロナ感染拡大防止のため開催延期)
  
- ・ 11月30日：蓬田中学校訪問（秋村校長先生）  
蓬田中学校生徒さんとの連携事業の可能性について
  
- ・ 12月9日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）  
(コロナ感染拡大防止のため開催延期)
  
- ・ 1月12、13、26、27日：地域経営に関する人材育成ワークショップ（4日間）  
(コロナ感染拡大防止のため開催延期)
  
- ・ 1月27日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）
  - 次第 1. これまでの振り返り
    - ・ 第1回の発言抜粋
    - ・ 第2回第1部

「地域の課題を念頭に置きながら、

収益をあげる仕事について考えよう」

・第2回第2部

「地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう」

2. これからの進め方、2021年度に行うことの確認

・金融機関職員、団体職員などとの連携

・蓬田中学校との連携

3. 本日の座談会

第1部「新規事業案のブラッシュアップ」

第2部「仲間を増やそう」

・2月26日：蓬田中学校訪問（竹内先生、岡本先生）

2021年度生徒さんとの地域産業に関するキャリア教育・総合学習の時間の進め方に関する打合せ

【今後の展開について】

- ・ 県内アンケート調査、全国アンケート調査の分析
- ・ 村内アンケートの検討
- ・ 人材育成（村関係者）事業開始
- ・ 県内金融機関等職員、村関係者等との地域経営に関する人材育成ワークショップ（県等との共催を想定）の実施
- ・ 蓬田中学校での事業開始

以上を踏まえ、関連する項目についてPPTにて説明する。

（参考）

【2019年度関連事業等概要】

- ・ 6月27日：協定締結
- ・ 8月11, 12日：東青地域ヒアリング等調査実施（今別町）
- ・ 9月26日：久慈村長訪問、ヒアリング実施
- ・ 10月2～4日：食品開発展2019出席（東京都）  
セミナー：「機能性食品のグローバルトレンド」、  
・ 変わり続ける健康志向：世界の事例にみる新しい価値の見つけ方・見直し方

- ・成長するサブリ、健康食品・飲料市場

アジアで今もとめられているものとは？

「知財情報の分析と活用で食品市場を切り開け」

- ・「機能性」と「美味しさ」の用途特許による差別化戦略
- ・AIを活用した「知財情報の収集と可視化」
- ・機能性食品の新開発におけるブランド戦略3つのポイント

- ・ 11月1日：ひろだい地域商社研究会設立（NPO法人ひろだいらサーチ内）
- ・ 11月20日：ビジット八戸（地域商社）ヒアリング調査実施（八戸市）
- ・ 11月21日：SANNOWA（地域商社）ヒアリング調査実施（三戸町）
- ・ 11月26～27日：金融機関目利き力向上研修①②主催（青森市）
- ・ 12月4日：聞き取り調査①実施  
株式会社アシスト  
蓬田村商工会  
蓬田村漁業協同組合
- ・ 12月5日：聞き取り調査②実施  
株式会社蓬田紳装  
JA青森蓬田支店
- ・ 12月17～18日：金融機関目利き力向上研修③④主催（青森市）
- ・ 1月28～29日：県内自治体（下北地域）の現地&ヒアリング調査実施
- ・ 2月3日：県内アンケートおよび全国アンケートに係る検討&打ち合わせ  
①「地域に関する意識調査」  
②「食品製造業の付加価値に関する調査」
- ・ 2月18日：地域資源活用促進セミナー出席  
キーワード「地域資源を活用した商品づくり」  
「こぎん刺しのコラボ商品の開発事例」  
「星野リゾート青森屋における地域資源の活用事例」
- ・ 2月19～20日：アグリフード EXPO in 大阪出席
- ・ 3月9日：（中止：主催）産学連携学会研究会（桐生市）  
「産学官連携による仕組みのあり方を考える」  
埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会の取組み ほか
- ・ 3月10日：（中止：主催）コーディネーター向けセミナー（青森市）
- ・ 3月13日：（中止：主催）青い森の食材研究会（青森市）
- ・ 3月17～19日：（中止）健康博覧会（東京都）

# 「蓬田村と国立大学法人弘前大学との連携調査研究事業」 報告

## 2. 地域産業の高度化を図る調査研究事業 (公開用抜粋版)

---

弘前大学大学院地域社会研究科  
地域産業研究講座 内山 大史

## 2. 地域産業の高度化を図る調査研究事業

---

### 【事業目標】

6次産業化を目指す、人材育成や既存施設の再活用等の調査研究を行い、新規雇用に結びつける。

農商工連携・6次産業化による高付加価値化の実現を目指し、地域資源の再評価を実施するとともに、効率的で実効性の高い事業戦略を策定する。

### 【事業実施内容】

6次産業化へ向けた村民の意識醸成研修会等や既存施設の機能付加等を探り、新たな産業創出を図り、新規雇用や移住定住促進に結び付ける。

農商工連携・6次産業化に関連する域内資源（人的・物的・情報等財産）の調査・評価を行い、地域産業の強み弱みなどの特徴を明らかにする。域内農産品（1次、2次）の差別化・高付加価値化に向けた基礎的検討（地域ブランド、地域商社機能等）を行う。

# 【2020年度関連事業等概要】

---

- ・ 7月16日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第1回）

- 次第
1. 弘前大学の取組み（自己紹介と大学事業概要）
  2. 当該調査研究事業の概要・今後の取組み
  3. 参加者との意見交換、情報共有
  4. 今後の進め方

## 固定メンバー

総務課	福井飛雄馬
住民課	工藤由紀子
健康福祉課	川崎光世
税務課	工藤大毅
建設課	大宮哲也
教育委員会	田中友也
産業振興課	古川直樹

事務局  
弘前大学  
弘前大学

中川孝治  
内山大史  
上平好弘

## 【2020年度関連事業等概要】

---

- ・ 10月7日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第2回）

次第 1. 前回の振り返り

2. 本日の座談会

- ・ これからの進め方

- ・ 日程案

- ・ 第1部：地域の課題を念頭に置きながら、  
収益をあげる仕事について考えよう（WS形式）

- ・ 第2部：地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう（GW形式）

- ・ 10月7日：蓬田村教育委員会訪問

蓬田中学校生徒さんとの連携事業の可能性について

- ・ 10月28日：地域経営に関する人財育成ワークショップ開催（1月）について  
（ZOOM打合せ）



## 【2020年度関連事業等概要】

---

- ・ 11月1日～：地域産業活性化人財育成研修への参加者募集案内開始（広報よもぎた）
- ・ 11月11日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）  
（コロナ感染拡大防止のため開催延期）
- ・ 11月30日：蓬田中学校訪問（秋村校長先生）  
蓬田中学校生徒さんとの連携事業の可能性について
- ・ 12月9日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）  
（コロナ感染拡大防止のため開催延期）
- ・ 1月12、13、26、27日：地域経営に関する人材育成ワークショップ（4日間）  
（コロナ感染拡大防止のため開催延期）

# 【2020年度関連事業等概要】

---

- ・ 1月27日：地域産業の高度化を図る調査研究事業にかかる座談会（第3回）
  - 次第 1. これまでの振り返り
    - ・ 第1回の発言抜粋
    - ・ 第2回第1部  
「地域の課題を念頭に置きながら、収益をあげる仕事について考えよう」
    - ・ 第2回第2部  
「地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう」
  - 2. これからの進め方、2021年度に行うことの確認
    - ・ 金融機関職員、団体職員などとの連携
    - ・ 蓬田中学校との連携
  - 3. 本日の座談会
    - ・ 第1部「新規事業案のブラッシュアップ」
    - ・ 第2部「仲間を増やそう」
- ・ 2月26日：蓬田中学校訪問（竹内先生、岡本先生）  
2021年度生徒さんとの地域産業に関する、  
キャリア教育・総合学習の時間の進め方に関する打合せ

参考) 実際のPPT等

# 蓬田村と国立大学法人弘前大学との連携調査研究事業

## 2. 地域産業の高度化を図る調査研究事業 (研究紹介と今後の展開)

弘前大学大学院地域社会研究科

地域産業研究講座 内山 大史

### 【自己紹介・最近の研究等紹介】

#### 【弘前大学の取組みとマネジメントについて（関連分野）】

★戦略1：アグリ・ライフ・グリーン分野における地域の特性・資源を活かした

イノベーション創出・人材育成

取組3：国際競争力のある青森ブランド食産業の創出に向けた“青森型地方創生サイクル”の確立

地域連携推進事業～地域とともに創造する青森型地方創生プロジェクトデザイン～

★COC+事業：文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」

オール青森で取り組む「地域創生人財」育成・定着事業

### 【連携調査研究事業】

★研究進捗状況と今後の展開

# 【今日やること！】

---

☆自己紹介と“これまでのこと”

☆連携調査研究事業で何をしたいか？（目的）

・ヒアリングの状況（一部）

☆参加者の皆さんからの思いと情報を

（今日の宿題でも）

提案）

・2つの会を作りたい（役場＆村民）

・メンバーの組成方法（推薦、公募）

## ●訪問団体等

- ・株式会社アシスト様
- ・蓬田村商工会様
- ・蓬田村漁業協同組合様
- ・株式会社蓬田紳装様
- ・JA青森蓬田支店様

## ★調査研究の目的

効率的で実効性の高い事業戦略を策定する⇒新規雇用に結びつける

## ★想定している事項

- ・農商工連携・6次産業化による高付加価値化の実現を目指す
- ・地域資源の再評価を実現する

## ★調査研究項目

- ・主要組織（メンバー）の概要等把握
- ・6次化を目指す人材育成の仕組みの可能性
- ・既存施設の活用の可能性

# 蓬田村における聞き取り調査①②

---

## 【質問項目】

- 御社、御団体についてご教示ください

### ✓組織概要

- ・ 主な活動内容、目指すところ、人員配置状況、人員のバックグラウンド（経験、出身など）
- ・ 年商、売上げ、取扱い商品（産品）、保有施設、建物、土地

### ✓物流・商流（関係者の整理）

- ・ 取引先、協力関係（村内、村外）、競合関係（村内、村外）、意思決定の仕組み

### ✓強みと弱み（内部要因：自社内）

- ・ 強み：例えば）販売チャネルの充実、ブランド力の強さ、施設の充実、人財など
- ・ 弱み：例えば）商品ラインナップが少ない、広告宣伝が弱い、業績悪化など

### ✓機会と脅威（外部要因：社外、顧客、市場、競合、マクロ環境など）

- ・ 機会（チャンスなど）：例えば）少子高齢化の到来、環境保護の機運、事業承継の問題
- ・ 脅威：例えば）原材料価格の高騰、外資系（村外）企業参入の増加、人口減少など

# 蓬田村における聞き取り調査①②

---

## ●蓬田村についてご教示ください

- ✓ 産品（1次産品、2次産品、伝統的工芸品など何でも）について
  - ・ 思いつくままご教示ください
  - ・ その中で力を入れたい、入れるべきものがあればご教示ください（理由も）
- ✓ 蓬田村に来たならば是非訪れるべき場所、施設について（理由も）
- ✓ 歴史的、物語的な視点から蓬田をPRするとしたら、どのような内容が考えられますか？
- ✓ 村外、県外、海外でも評価されるであろう「こと」はありますか？（技術、品質含む）
- ✓ この地域のリーダーとなりえるキーパーソンについて

## ●今回の訪問先以外で調査すべきと思う組織、人についてご教示ください



# 【今日やること！】

---

☆ 自己紹介と“これまでのこと”

☆ 連携調査研究事業で何をしたいか？（目的）

- ・ ヒアリングの状況（一部）

☆ **参加者の皆さんからの思いと情報を  
（今日の宿題でも）**

**提案）**

- ・ **2つの会を作りたい（役場&村民）**
- ・ **メンバーの組成方法（推薦、公募）**

# 地域産業の高度化を図る 調査研究事業にかかる座談会（第2回）

## ☆前回の振り返り【10】

- ・ 昨年のヒアリングポイント（回収資料）
- ・ 前回の発言抜粋（回収資料）

## ☆本日の座談会【80】

- ・ これからの進め方 (5)
- ・ 第1部：「地域の課題を念頭に置きながら、  
収益をあげる仕事について考えよう」（WS形式） (40)
- ・ 第2部：「地域のキーマンについて語り、  
仲間を募ろう」（GW形式） (35)

# ☆本日の座談会【80】

- これからの進め方 (5)
  - ・日程案

## 第1部（WS形式）

- 「地域の課題を念頭に置きながら、  
収益をあげる仕事について考えよう」 (40 )  
欲しいものは⇒域外から外貨を稼ぐ仕事を提案

## 第2部（GW形式）

- 「地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう」 (35)  
欲しいものは⇒キーマンの洗い出し  
欲しいものは⇒修正案・コメント

# 第1部（WS形式）

## 「地域の課題を念頭に置きながら、収益をあげる仕事について考えよう」（40）

欲しいものは⇒域外から外貨を稼ぐ仕事を提案

### ・進め方

①新しいアイデア一つにつき付箋1枚に、できるだけ多く書いてみましょう」（10分）

✓この段階で実現可能性は考えなくてよい

✓思いつくものの数が多いことが重要

②席を立って誰かとペアになり、書いた付箋の中からアイデアを広げたい、深めたいと思っているものを1つか2つ選んで、立ったまま2人で5分間（一人2分半ずつ）の意見交換し、気づいたこと、新たに浮かんだアイデア、など各自メモ（1分）する。

（6分×3回＝18分）

✓相手の意見の良いところに光を当てるように意見を出すこと。否定するのではなく、

「さらにこういうことを付け加えては？」「もっとこうしたら面白いですね」など。

もしもよくわからなかったら、「独創的ですな」。

# 第1部（WS形式）

「地域の課題を念頭に置きながら、収益をあげる仕事について考えよう」（40）

欲しいものは⇒域外から外貨を稼ぐ仕事を提案

## ・進め方

③席に戻り、アイデアを一つ選び、具体的にイメージを膨らませる（様式あり）。元のアイデアでも新しいアイデアでも可。ただし、本当に**自分が本気になれるかどうか**を基準にすること。（10分）

✓アイデアを一言で表現した「ヘッドライン化したアイデア」に加え、

詳細や補足説明を3つ書き出してください。（絵や図でも可）

✓そのアイデアでどんなことができるのか

✓どんな中身なのか

など

# アイデア記入用紙

---

ヘッドライン化したアイデア（アイデアを一言で表現したもの）

・アイデアの詳細や補足説明を3つ（絵で表現してもOK）

①

②

③

記入者氏名：

## 第2部（GW形式）

# 「地域のキーマンについて語り、 仲間を募ろう」（35）

欲しいものは⇒キーマンの洗い出し  
欲しいものは⇒修正案・コメント

### ・進め方

- ①4&3人グループに分かれ、各グループで司会役を決める。
- ②第一部で個人で作成した事業について説明（一人2分以内）（10分）
- ③全員が説明終了したら、各事業遂行に向けたキーマンの洗い出し、まだ見ぬキーマンへの働きかけについて意見交換し、自分のアイデアを記入しましょう（様式あり）（20分）
- ④お知らせ案への修正をしてきましょう。（案あり）（5分）

# キーマンになりそうな人について教えてください。

---

☆実際に事業を進めていく上で中心になり得そうな人（複数）

①

②

③

☆事業進めるうえでのアドバイスを得られそうな人（複数、個人名でなくても可）

①

②

③

☆まだ見ぬキーマンはどこにいますか

①

②

③

記入者氏名：



# 地域産業の高度化を図る

蓬田村と国立大学法人弘前大学との連携調査研究事業

2021年1月27日：ふるさと総合センター

## 調査研究事業にかかる座談会（第3回）

### ☆これまでの振り返り【5】

- ・ 第1回の発言抜粋
- ・ 第2回第1部「地域の課題を念頭に置きながら、収益をあげる仕事について考えよう」
- ・ 第2回第2部「地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう」

### ☆ これからの進め方、2021年度に行うことの確認【5】

- ・ 金融機関職員、団体職員などとの連携
- ・ 中学生との連携

### ☆ 本日の座談会【80】

#### 第1部「新規事業案のブラッシュアップ」

- ・ 前回の確認、修正、新規追加（10）
- ・ 前回自分が決めたことの概要を説明（一人3分、質疑応答も）（30）
- ・ 質疑応答終了後、あらためて回答作成（新規でも修正でも可）（10）

今日の視点：動くには何が必要か？それは実現可能か？比較できる事例？参考にできる事例？

#### 第2部「仲間を増やそう」

- ・ 村民の参加を促す方策について（役場職員の担当部署も考慮！）（30）  
cf) 一本釣り？経済的？名譽的？研究費？実施費？

# これまでの振り返り【5】

---

- ・ 第1回の発言抜粋（要回収資料）
- ・ 第2回第1部（PDF提示、回収資料）  
「地域の課題を念頭に置きながら、  
収益をあげる仕事について考えよう」
- ・ 第2回第2部（PDF提示、回収資料）  
「地域のキーマンについて語り、仲間を募ろう」

# これからの進め方、 2021年度に行うことの確認【5】

---

- ・ 県内金融機関等職員、団体職員などとの連携（PDF）
- ・ 蓬田中学校との連携
- ・ 弘前大学戦略1との連携

# ☆本日の座談会【80】

## 第1部「新規事業案のブラッシュアップ」

- ・ 前回の確認、修正、新規追加 (10)
- ・ 前回自分が決めたことの概要を発表（一人3分、質疑応答も） (30)
- ・ 質疑応答終了後、あらためて回答作成（新規でも修正でも可） (10)

**今日の視点：動くには何が必要か？それは実現可能か？比較できる事例？  
参考にできる事例？**

## 第2部「仲間を増やそう」

- ・ 村民の参加を促す方策について（役場職員の担当部署も考慮！）(30)  
cf) 一本釣り？経済的？名譽的？研究費？実施費？

# ☆ 本日の座談会【80】

## 第1部「新規事業案のブラッシュアップ」

- ① 前回の確認、修正、新規追加作業 (10)
- ② 前回自分が決めたことの概要を発表（一人3分、質疑応答も） (30)
- ③ 質疑応答終了後、あらためて回答作成（新規でも修正でも可） (10)

**今日の視点：動くには何が必要か？それは実現可能か？比較できる事例？  
参考にできる事例？**

# アイデア記入用紙（210127：第3回）

---

ヘッドライン化したアイデア（アイデアを一言で表現したもの）

・アイデアの詳細や補足説明（絵で表現してもOK）

①

・動くには何が必要か？それは実現可能か？比較できる事例？参考にできる事例？

記入者氏名：

# キーマンになりそうな人について教えてください。 (210127：第3回)

---

☆実際に事業を進めていく上で中心になり得そうな人（複数）

①

②

③

☆事業を進めるうえでのアドバイスを得られそうな人（複数、個人名でなくても可）

①

②

③

☆まだ見ぬキーマンはどこにいそうか

①

②

③

記入者氏名：

# ☆本日の座談会【80】

## 第2部「仲間を増やそう」

- ・村民の参加を促す方策について

(役場での担当部署も考慮して良い) (30)

cf) 一本釣り？ 経済的？ 名譽的？ 研究費？ 実施費？

①意見交換

②押し（推し）意見の記入

**今日の視点：動くには何が必要か？ それは実現可能か？ 比較できる事例？ 参考にできる事例？**



# 「仲間を増やそう」 アイデア記入用紙

(210127 : 第3回)

- ・押し（推し）アイデアを3つまで（詳細や補足説明）

①

②

③

**今日の視点：動くには何が必要か？それは実現可能か？  
比較できる事例？参考にできる事例？**

記入者氏名：

# 【6次産業化、地域商社にかかる調査】

# 「6次産業化」、 「地域商社」 にかかる県内動向調査（県内主要新聞記事2016～2020）

---

利用データベース：WEB東奥

抽出キーワード：6次産業化

抽出記事数：2020年、14件

2019年、30件

2018年、24件

2017年、37件

2016年、87件

合計 192件（文書数3485件）

利用データベース：WEB東奥

抽出キーワード：地域商社

抽出記事数：2020年、22件

2019年、21件

2018年、8件

2017年、4件

2016年、0件

合計 55件（文書数778件）

# 「6次産業化」、 「地域商社」 にかかる県内動向調査（県内主要新聞記事2016～2020）

## コーディングルール

\* 産業

地域 or 農業 or 事業 or 取組む or 産業

\* 振興

観光 or 活用 or 振興

\* 開発

加工 or 販売 or 生産 or 商品 or 開発

\* 現職

町長 or 目指す or 市長 or 現職

## コーディング単純集計

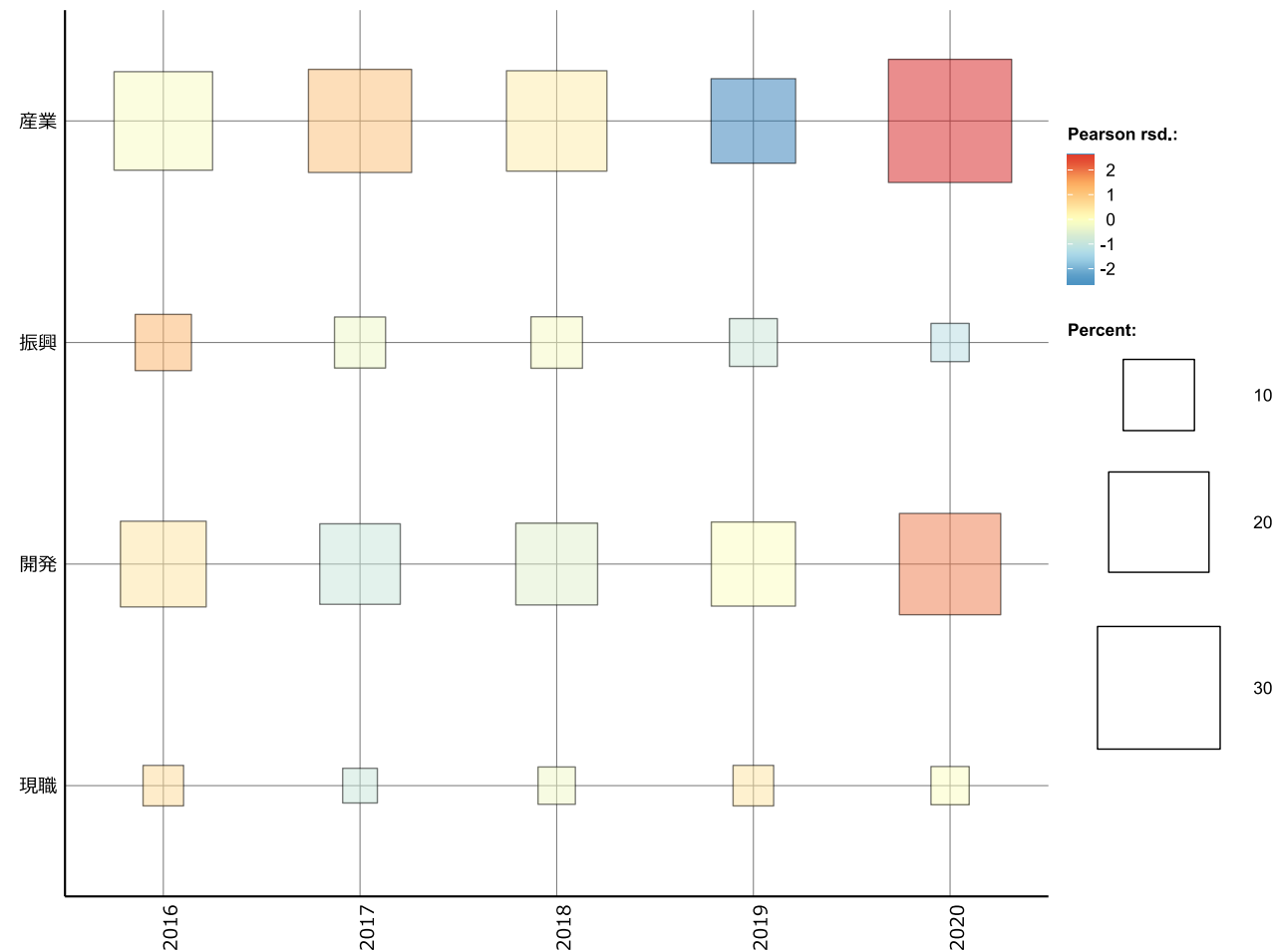
* 産業	676	19.40%
* 振興	185	5.31%
* 開発	490	14.06%
* 現職	100	2.87%
#コード無し (文書数)	2353 3485	67.52%

## コーディングクロス集計

	* 産業	* 振興	* 開発	* 現職	ケース数
2016	249 (19.29%)	80 (6.20%)	188 (14.56%)	41 (3.18%)	1291
2017	183 (21.16%)	44 (5.09%)	111 (12.83%)	20 (2.31%)	865
2018	112 (20.04%)	29 (5.19%)	74 (13.24%)	15 (2.68%)	559
2019	89 (14.17%)	28 (4.46%)	88 (14.01%)	20 (3.18%)	628
2020	43 (30.28%)	4 (2.82%)	29 (20.42%)	4 (2.82%)	142
合計	676 (19.40%)	185 (5.31%)	490 (14.06%)	100 (2.87%)	3485
カイ2乗値	23.594**	4.783	6.420	1.694	

キーワード:6次産業化  
(KHCoder,コーディング)

# 「6次産業化」、 「地域商社」 にかかる県内動向調査（県内主要新聞記事2016～2020）



キーワード：6次産業化  
 (KHCoder, コーディング)

「6次産業化」、 「地域商社」 にかかる県内動向調査（県内主要新聞記事2016～2020）

コーディングルール

- \*金融
- 金融 or 地銀 or 統合
- \*経営
- 経営 or 環境
- \*三戸
- ホップ or ビール or SANNOWA or 三戸
- \*八戸
- VISIT or 観光 or DMO or 八戸

コーディング単純集計

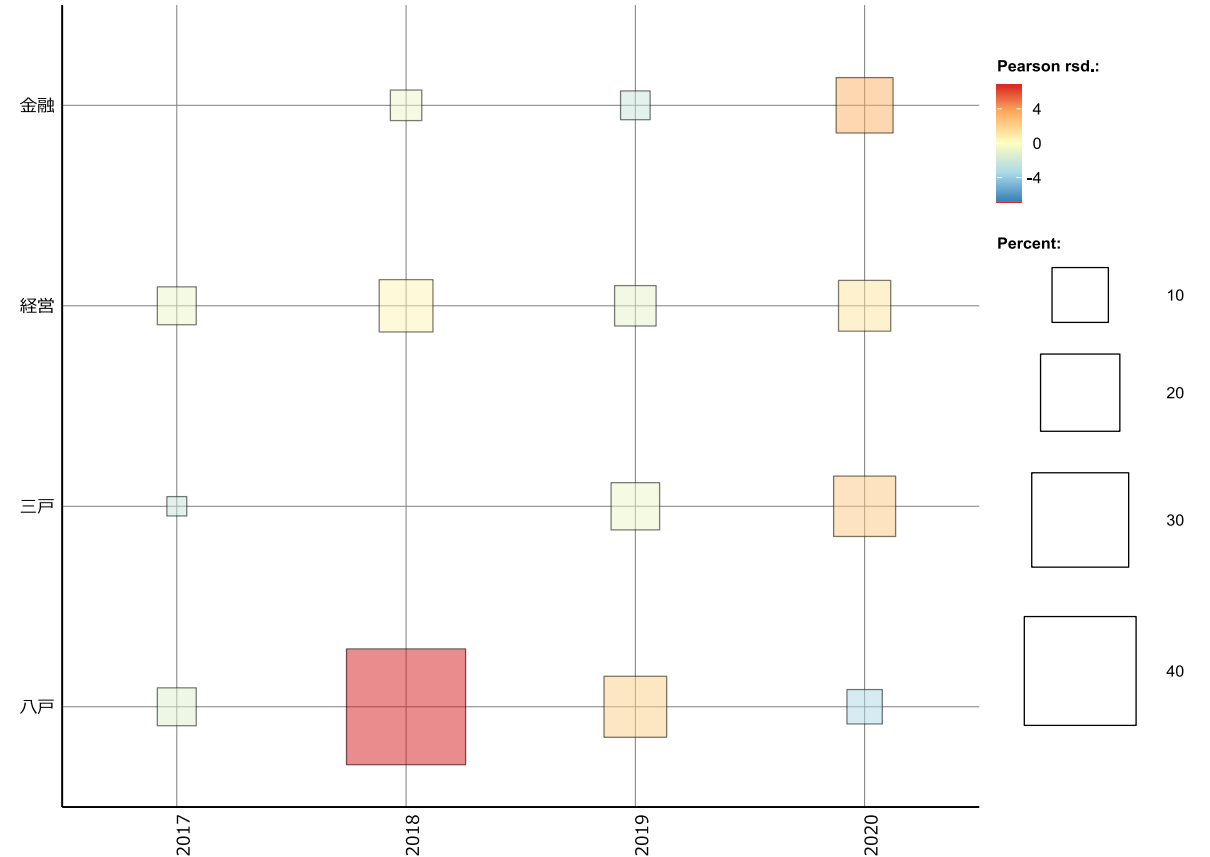
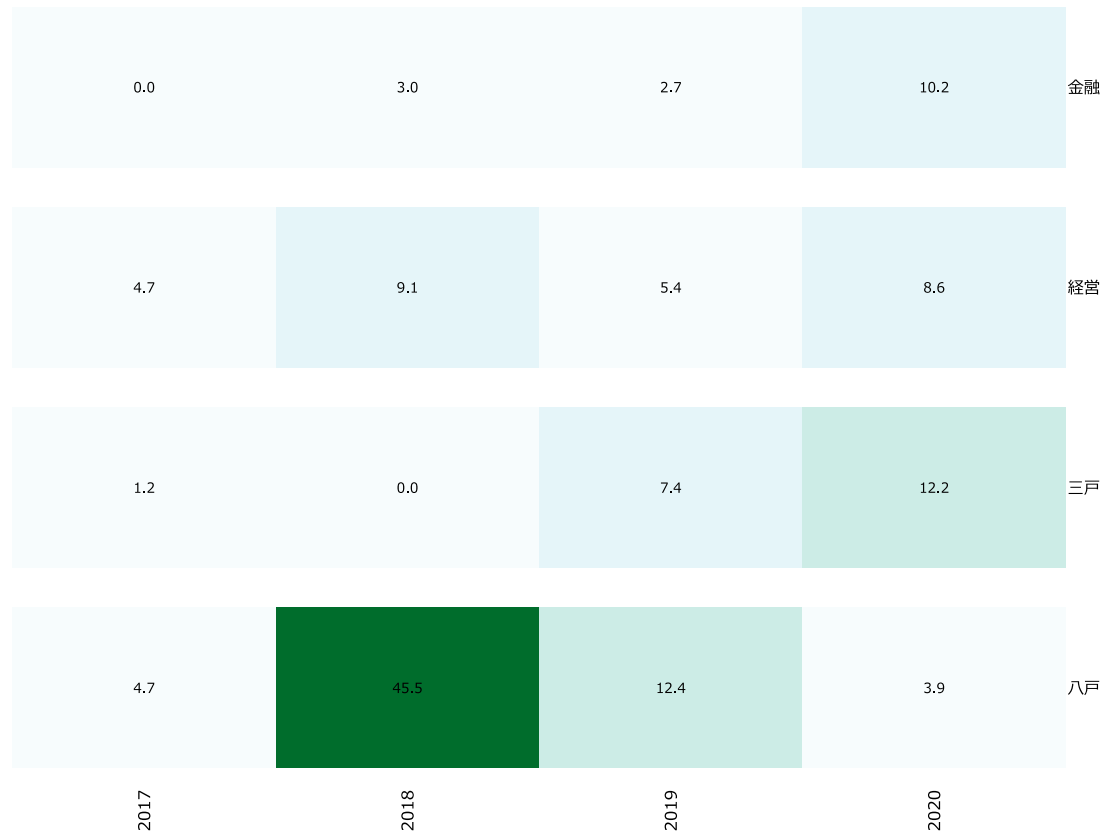
*金融	46	5.91%
*経営	54	6.94%
*三戸	67	8.61%
*八戸	70	9.00%
#コード無し	573	73.65%
(文書数)	778	

コーディングクロス集計

	*金融	*経営	*三戸	*八戸	ケース数
2017	0 (0.00%)	4 (4.71%)	1 (1.18%)	4 (4.71%)	85
2018	1 (3.03%)	3 (9.09%)	0 (0.00%)	15 (45.45%)	33
2019	8 (2.68%)	16 (5.37%)	22 (7.38%)	37 (12.42%)	298
2020	37 (10.22%)	31 (8.56%)	44 (12.15%)	14 (3.87%)	362
合計	46 (5.91%)	54 (6.94%)	67 (8.61%)	70 (9.00%)	778
カイ2乗値	23.495**	3.509	15.426**	71.369**	

キーワード：地域商社  
(KHCoder,コーディング)

# 「6次産業化」、 「地域商社」 にかかる県内動向調査（県内主要新聞記事2016～2020）



キーワード：地域商社  
(KHCoder, コーディング)

# 今後の展開について

---

- ・ 県内アンケート調査、全国アンケート調査の分析
- ・ 村内アンケートの検討
- ・ 人財育成（村関係者）事業開始
- ・ 県内金融機関等職員、村関係者等との地域経営に関する人材育成ワークショップ（県等との共催を想定）の実施
- ・ 蓬田中学校での事業開始



# **参考) 【2019年度関連事業等概要】**

# 参考) 【2019年度関連事業等概要】

---

- ・ 6月27日：協定締結
- ・ 8月11, 12日：東青地域ヒアリング等調査実施（今別町）
- ・ 9月26日：久慈村長訪問、ヒアリング実施
- ・ 10月2～4日：食品開発展2019出席（東京都）
  - セミナー：「機能性食品のグローバルトレンド」、
    - ・ 変わり続ける健康志向：  
世界の事例にみる新しい価値の見つけ方・見直し方
    - ・ 成長するサプリ、健康食品・飲料市場  
アジアで今もとめられているものとは？  
「知財情報の分析と活用で食品市場を切り開け」
    - ・ 「機能性」と「美味しさ」の用途特許による差別化戦略
    - ・ AIを活用した「知財情報の収集と可視化」
    - ・ 機能性食品の新開発におけるブランド戦略3つのポイント

## 参考) 【2019年度関連事業等概要】

---

- ・ 11月1日：ひろだい地域商社研究会設立（NPO法人ひろだいいリサーチ内）
- ・ 11月20日：ビジット八戸（地域商社）ヒアリング調査実施（八戸市）
- ・ 11月21日：SANNOWA（地域商社）ヒアリング調査実施（三戸町）
- ・ 11月26～27日：金融機関目利き力向上研修①②主催（青森市）
- ・ 12月4日：聞き取り調査①実施  
株式会社アシスト  
蓬田村商工会  
蓬田村漁業協同組合
- ・ 12月5日：聞き取り調査②実施  
株式会社蓬田紳装  
JA青森蓬田支店
- ・ 12月17～18日：金融機関目利き力向上研修③④主催（青森市）
- ・ 1月28～29日：県内自治体（下北地域）の現地&ヒアリング調査実施
- ・ 2月3日：県内アンケートおよび全国アンケートに係る検討&打ち合わせ
  - ①「地域に関する意識調査」
  - ②「食品製造業の付加価値に関する調査」

## 参考) 【2019年度関連事業等概要】

---

- ・ 2月18日：地域資源活用促進セミナー出席  
    キーワード「地域資源を活用した商品づくり」  
    「こぎん刺しのコラボ商品の開発事例」  
    「星野リゾート青森屋における地域資源の活用事例」
- ・ 2月19～20日：アグリフードEXPO in大阪出席
- ・ 3月9日：（中止：主催）産学連携学会研究会（桐生市）  
    「産学官連携による仕組みのあり方を考える」  
    埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会の取組み　ほか
- ・ 3月10日：（中止：主催）コーディネーター向けセミナー（青森市）
- ・ 3月13日：（中止：主催）青い森の食材研究会（青森市）
- ・ 3月17～19日：（中止）健康博覧会（東京都）